



学校だより

福岡市立香椎浜小学校

令和元年度 No.5

文責 校長 西川 秋生

発行 令和元年 7月12日

本当の幸せ

青くきれいな海
この海は
どんな景色を見たのだろうか
爆弾が何発も打ちこまれ
ほのおで包まれた町
そんな沖繩を見たのではないだろうか

緑あふれる大地
この大地は
どんな声を聞いたのだろうか

けたたましい爆音
泣き叫ぶ幼子
兵士の声や銃声が入り乱れた戦場
そんな沖繩を聞いたのだろうか

青く澄みわたる空
この空は
どんなことを思ったのだろうか
緑が消え町が消え希望の光を失った島
体が震え心も震えた
いくつもの尊い命が奪われたことを知り
そんな沖繩に涙したのだろうか

平成時代
私はこの世に生まれた
青くきれいな海
緑あふれる大地
青く澄みわたる空しか知らない私
海や大地や空が七十四年前
何を見て
何を聞き
何を思ったのか
知らない世代が増えている

体験したことはなくとも
戦争の悲しさ
決して繰り返してはいけないことを
伝え継いでいくことは
今に生きる私たちの使命だ
二度と悲しい涙を流さないために
この島がこの国がこの世界が
幸せであるように

お金持ちになることや
有名になることが
幸せではない
家族と友達と分かり合える毎日こそが
本当の幸せだ
未来に夢を持つことこそが
最高の幸せだ

「命どう宝」
生きているから笑い合える
生きているから未来がある

令和時代
明日への希望を願う新しい時代が始まった
この幸せをいつまでも

★6月の沖繩全戦没者追悼式で、小6の山内玲奈さんが朗読した平和の詩「本当の幸せ」です。命が何より大切という素直な思いを込めて朗読していました。

「平和」な世の中を築くのは ぼくたち・わたしたちです!

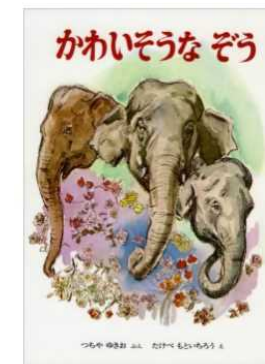
学校では、6月19日と7月11日の2回にわたって「平和学習」を行いました。
1945年6月19日 福岡空襲

アメリカの爆撃機 B-29 の編隊 239機は、日本時間の23時11分から約2時間にわたって博多や天神の街を中心に焼夷弾を落としました。
福岡市の3分の1の家屋が焼け、死者約900人、けがをした人約6万人といわれています。

1945年8月6日 広島 8月9日 長崎 原子爆弾投下

- 原子爆弾のおそろしさには、3つあります。
- ①熱線・・・原爆が爆発したときの温度はセ氏100万度といわれ、地上500mではセ氏5000度だったそうです。
 - ②爆風・・・原爆の爆発で、非常に強い台風の10倍の爆風が発生したといわれています。
 - ③放射線・・・放射線は目で見たり手でさわったりできませんが、放射線は人の体の細胞を破壊する力を持っています。今でも放射線によって、苦しんでいる人がたくさんいます。

「平和」な世の中を築くのは、子どもたちです。子どもたちに、もっともっと「平和」の大切さを考えてもらうために、本を紹介しします。



つちやゆきお 文/たけべもと いちろう 絵 (金の星社)
この絵本は、私が小学校2年生の時に担任の先生から読み聞かせしてもらった本です。当時、「戦争」のこともあまり知らなかったのですが、とてもかわいそうで涙がこぼれたのを覚えています。

☆夏休みには、平和式典も開かれます。家族で「平和」についてお話してください。